

質問回答 1

「公園管理運営の現状（情報提供）と課題」 赤澤 宏樹 様

<質問①>

指定管理料はあくまでも行政からの公的な財源支出であり、利用料金や自主事業による収入、自販機や営業施設などの収入は「その他の収入」とであると理解していますが、特別講話の「経営基盤の選択」では表現及び説明が違うのではないのでしょうか？

<回答①>

ご質問にある認識が基本で、「その他収入」の維持管理費への還元を求める自治体もあります。また、アンケート結果にあるように「その他の収入」の一部を指定管理料に含む自治体もあります。これが良いかどうかは別にして、そのような仕様で指定管理業務が公募される以上、経営基盤の選択のバリエーションも検討する必要があると思いき解説しました。

<質問②>

指定管理の場合、期間が4～10年と、地域づくり・地域ぐるみの子供の成長にはやや短いと感じています。地域の中で自治体が後見人となり、長期的な安定した指定管理の仕組み（協定）は全国的に増えているのでしょうか？

<回答②>

ご質問の仕組み（協定）は、P-PFIなどが絡まない限り、事例は少ない状況と思います。一方、指定管理の期間は短くとも、その公園で継続して活動する子育て団体や管理運営協議会などとの協働については、自治体は望みますし、仕様に書かれている場合もあります。指定管理者が直接事業を行えなくとも、協働により中長期的な達成を目指すことが最も現実的かもしれません。

<質問③>

Klyde Warren Park に応募した企業数と、その中に造園業者はメンバーにいたかを知りたいです。

<回答③>

以下のリンクに、Klyde Warren Park の構成企業があります。ハイウェイの上部を塞いで作った公園なので、土木・構造系を含めて多くの会社が参加しています。

<https://www.asla.org/2017awards/327692.html>

造園業者としては、以下のデザイン事務所です。理念、デザインともに素晴らしいので、是非リンク先を見てください。

<https://www.ojb.com/>

<質問④>

Park-PFI 制度について、今後増加傾向に向かうと思われませんか？

<回答④>

今後も増加傾向に向かうと思います。ただし、これまでの P-PFI は、カフェが儲かるだけで公共性は低くなるものもありました。15～20年の指定管理と施設整備がセットになった PMO 型の方が、公園と施設の相乗効果を発揮しやすいので、今後増えてくると考えています。

質問回答 2

「事例紹介」 金岡 伸夫 様

<質問①>

なぜ「オレンジパーク」と名付けられたのですか？経緯など教えてください。

<回答①>

弊社が指定管理として村に携わる以前に、京坪川河川公園の愛称を村が募集し、選考委員会を選んだ3案を春開催の村イベント（Sakura meets）にて投票を行い、「オレンジパーク」が愛称となりました。

※京坪川沿道桜並木の愛称はオレンジロードです。

<質問②>

コロナ禍で行政からの支援はありましたか？また、あった場合の支援の内容と経緯(行政側から協議があったor働きかけたなど)を教えてください。

<回答②>

コロナ禍中のイベント開催については行政とよく協議しました。基本的には富山アラート・ステージ3にて開催中止ステージ2であっても世相の状況によりイベントの規模を変化させました。

一つの事例として R3.8 月イベントは、こども公園部長とその保護者のみ参加対象とし、少しでも夏休みの思い出となるよう、防災訓練をかねて村の施設で宿泊型のイベントを開催しました。その際、ソーシャルディスタンスが確保できるよう簡易の防災テントの支給をはじめ、村備蓄の防災食など支援を頂きました。イベントの開催だけでは村内外から批判の声が上がったと思うのですが、防災とからめ資材の提供を受け、開催できたことは良かったと思います。

<質問③>

オレンジパークに関わるきっかけは、指定管理の応募 or 舟橋村からの打診のどちらだったのかを教えてください。

<回答③>

平成 27 年に村が公園拡張のプロポを実施・新たなチャレンジを模索していたときに、プロポの情報を知り優先交渉権者に選ばれたのがきっかけです。(プロポの広告は地元の建築新聞や造園団体からのお知らせなどが情報源です)

公園拡張の工事完了後もマネジメントで成果を出さなければ継続して仕事をさせてもらえない状況のなか、実際に、公園のほか、こども園と子育て支援賃貸のプロポが同時に公表されていたのですが、子育て賃貸に採択された最初の団体は村の意図と相違があり優先交渉権を白紙にされています。

村は本気の取り組みでしたので本当に大変でした。

<質問④>

「びすと」とママスタッフの違いを教えてください。

<回答④>

ママスタッフはパート契約しています。※お仕事です

「びすと」は無給です。※ボランティアです

<質問⑤>

プロジェクトの業務委託費で採算状況はどのようなものか教えて頂きたいです。

<回答⑤>

公園委託費だけでは赤字なので、各種の助成金にチャレンジしたり、資金だけではない支援を各種団体から得よう取り組んでいます。

また実績も村では評価を得てきたので、公園委託費以外にも「園むすび」として予算を次年度から本格的につけてもらえるようになりました。

なお、造園会社と園むすびの収支をしっかりと区別するため、次年度から NPO 法人となります。